

やさしい自然派住宅の
つくりかた

そざい Sozai Note のーと

vol.08

文・西條 正幸 エコ空間デザイナー

北海道伊達市出身。
自然と人にやさしい建築デザインを専門とし、
建築デザイン事務所ピオプラス西條デザインを主宰。
オーガニックな暮らしをライフワークに、
仲間との有機農園やマーケットの運営、
講演会やワークショップなども企画、開催している。

自然派 リノベーション 始めましょう！



「ワオキツネザル」は平成30年12月、小樽市富岡2丁目に移転OPENしました

ここは小樽駅近く、富岡の船見坂に面した道路沿いに建つ、築67年の木造住宅。戦後に建てられたマンサード（腰折れ）屋根の北海道らしい建物をリノベーションし、店舗に大改造した。さすがにこれだけ年数が経っていると、普通なら解体して建て直すところだが、小樽の街には貴重な古い木造建築物がまだまだ残っている。そんな街並みを保全するためにも、解体せずにリノベーションして再生させることを選んだのだ。実は、半世紀以上前の建物に手を加えるのは初めての経験。壊し始めてみると、やはり足元はかなり傷んでいた。それでも、梁はちゃんとあるべきところに架っていて、金物は使わずに木組みと木の木柱で建てた伝統的工法だった。工事は、屋根と主要な柱、梁だけを残し

てほぼ入れ替える大仕事となった。構造補強と断熱改修を済ませ、窓には3重ガラスの格子窓をはめ込む。結局、新築同様4か月ほどかけてやっと完成。外観は、もともとのフェイスをそのままいかし、北海道産の木板貼りで、天然の木酢液と柿渋で仕上げた。室内も、やはり自然素材だけでデザインし、床や陳列棚、カフェコーナーのテーブル、厨房のキッチン家具や建具まで、全て北海道産無垢の木で造ったのだ。ホタテ貝の漆喰風塗り壁、ウッドチップ壁紙、天然リノリウム、ナチュラルコルクタイル、江別レンガタイルなど、ピオプラス西條デザインがつくる自然派住宅の定番素材、安心安全な無添加自然素材でしっかり改造終了。シンブル&ナチュラルな室内に大変身し、環境雑貨

店『ワオキツネザル』にふさわしい建物に生まれ変わった。小樽へ行ったら、ちよつと覗いてみてくださいね。

絵本と環境雑貨のお店

（ワオキツネザル ホームページより）

子どもたちが健康に育ってくれることを願って2004年に「小樽・子どもの環境を考える親の会」が生まれました。しかし、子どもたちの環境は、残念ながらそのころと比べても決して良くなっているとは言えません。有害物質は、「呼吸」から肺に入り、全身にまわります。その割合は、皮膚や食事からの取り込みと比べて全体の80%にもなります。ですから、空気を汚すものは「買わない」「使わない」。代替品があれば、人はもちろん鳥や虫たちにも優しい商品を「使いたい」。家の中を見回してみてください。例えば、殺虫剤や防虫剤。例えば、合成洗剤と柔軟剤。例えば、化粧品類…。そういうものが、子どもの成長に影響をあたえているようだという報告が世界中であいついでいます。だから、私たちは環境の影響を受けやすい子どもが安心して使えるものを、選んで使ってい

きたいと考えています。

最近、ぜん息やアレルギー、落ち着きのない子、疲れやすい子・・・気になりませんか。子育て中に、世の中には必要のないものが溢れて、必要なものが手に入らないことに気づきました。「だったら、必要なものが手に入る場所作っちゃおう！」というわけで、『ワオキツネザル』が誕生しました。せっけんを中心に、人と環境にやさしい商品や児童労働から子どもを守るためのフェアトレード品などを取り揃えました。「ファストフード&ファッション」に慣れてしまった私たちは、オーガニックやフェアトレード品は「値段が高い、おしゃれじゃない」と思いがちですが、商品を通して世界のこと、健康のことを考えるきっかけにしたいだけならば、嬉しいですね。そして、本当に必要なもの、必要なこと、必要な時期にお金をかけることを一緒に考えていけたらいいなと思っています。店内では、フェアトレードのコーヒー、素材にとことんこだわった手づくりお菓子が食べられます。